

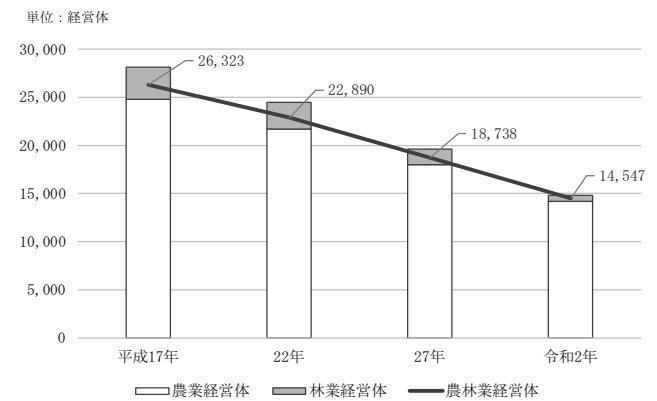


農林業センサス

農林業センサスという統計調査をご存じでしょうか。農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造、就業構造及び農山村等の農林業をとりまく実態を明らかにするとともに、農林行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的として5年ごとに実施され、農林業に従事するすべての方に調査をお願いしています。直近では令和2年2月1日現在で実施され、次回は令和7年を調査年として行われる予定です。ここでは、2020年農林業センサスから京都府の農業について見てみましょう。

京都府の農林業経営体は、総数が1万4547経営体で、このうち農業経営体数は1万4181経営体、林業経営体数は619経営体で、それぞれ平成17年から調査を重ねるごとに減少しています。(図)

図 農林業経営体数(京都府)



注 農林業経営体は農業と林業の両方に該当する経営体もあるため、農業経営体と林業経営体の合計は一致しない。
出典：農林業センサス

ここで、農業従事者の平均年齢をみると、令和2年では63.2歳と、平成17年から上昇しており、農業従事者の高齢化が進んでいることがわかります。

(表1)

また、令和2年でみると、農業経営体の5年以内の後継者の確保状況については、1万4181経営体のうち約7割にあたる9916経営体が後継者を確保していないという状況で、農業従事者の高齢化が進む中で後継者の確保が問題となっています。(表2)

表1 農業従事者の平均年齢(京都府)

単位:歳

平成17年	22年	27年	令和2年
57.8	59.3	61.2	63.2

注 平成17年、22年は販売農家、平成27年、令和2年は個人経営体の農業従事者の平均年齢
出典：農林業センサス

農林業センサスは、農林業に関わる方以外には馴染みのない調査かもしれませんが、これを機会に将来の農業について考えてみてはいかがでしょうか。

表2 5年以内の後継者の確保状況別農業経営体数(令和2年・京都府)

単位:経営体

5年以内に農業を引き継ぐ後継者を確保している				5年以内に農業経営を引き継がない	確保していない	計
親族	親族以外の経営内部の人材	経営外部の人材	小計			
3,425	137	53	3,615	650	9,916	14,181

出典：農林業センサス